

# 3つのプロジェクトの活動レポート



第2回アクションフォーラムの様子

9月20日に開催した第2回大山街道アクションフォーラムでは、会場全体で、アクションフォーラムの位置づけの説明と、アクションフォーラムの取組みと並行して進んでいる、大山街道活性化推進協議会を中心とした川崎市都市景観条例に基づく景観づくりの取組みについての説明を行いました。

その後、プロジェクトごとに分かれて、グループワークを行いました。三プロジェクト三様の取組みが、進んでいます。

## 子どもたちとマップをつくろう！ 大山みちまち探検隊



地域の子ども会や高津小学校PTA、子育てNPOの方を中心に、子どもたちのまち歩きイベント「大山街道なぞときドキドキツアー」を企画しました



8/28 企画を考えるワークショップの様子

子どもたちが「なぞ」を解きながら街道を歩き、ふるさと感じたり、魅力を発見してほしいという「大山街道なぞときドキドキツアー」。「古い写真に写っている場所はどこ？」、「普段は見られない蔵の中はどうなってるの？」、「溝口神社や光明寺で昔話を聞くと…」など、魅力的な「なぞ」が出そろいました。



第2回アクションフォーラムの様子  
お母さんや小学生のアイデアが盛り込まれたチラシ



ずっと大山街道のまちづくりに関わってこられたベテランの方のアイデアも活かされています。

ツアーは11月1日、15日に開催します。詳しくは4面をご覧ください。

## ユビキタスで

### 歴史や魅力を発信しよう！



まず、「ユビキタス」をみんなで体験！

11月15日に開催するまち歩きイベントに向けて、検討を進めます

第2回アクションフォーラムでは、まず「ユビキタスってどんなもの？」というギモンを解消するために、実際にQRコードを用意して、みんなで体験しました。



QRコードに携帯電話をかざして体験

その後の話し合いでは、目に見えない歴史や魅力を発信するだけでなく、「若い人は飲食情報なども欲しいかも？」、「何パターンかコースを設置したい」など、もっと多くの人が興味を持つ内容にしたいという意見が出ました。これらをもとに10月中旬に、まちを歩きながら発信する情報を検討します。



第2回アクションフォーラムの様子

11月15日には、街道沿いにお住まいの方や、周辺の学校に通う学生さんなどにも呼びかけ、お試しいイベントを開催します。まちなかの資源に設置されたQRコードを読み取りながら、大山街道のさらなる魅力を発見しましょう！

## みちまちにぎわい大作戦



ミニコミ紙づくり・イベントに合わせたお試しい活用…などなど、蔵や店舗の魅力を活かした、街道界わいの賑わいづくりの実践に向けて、検討を進めています



8/19  
自主まち歩きの様子

第1回アクションフォーラム後には、プロジェクトメンバー有志でまち歩きを行いました。長年街道沿いにお住まいの方でも、「こんなところこんな魅力があったなんて！」という発見がたくさんありました。

第2回アクションフォーラムでは、まち歩きでの発見を受けて、新旧の大山街道の賑わいの魅力を伝える「ミニコミ紙」などをつくっていこうというアイデアや、イベントに合わせて街道沿いの空間を活用してみようというアイデアが交わされました。



第2回アクションフォーラムの様子

ミニコミ紙づくりでは、さっそく編集会議を開くことになりました。協力者募集中です！